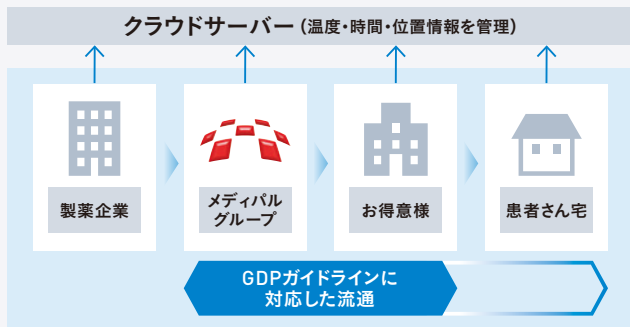


## 医薬品流過程の可視化実現に向けた取組み

医療用医薬品の流通においては、GDPガイドライン※1に準拠した高いレベルでの品質管理が求められます。その一環として、高度な温度と振動などのモニタリング技術を有するパートナーと、医薬品の温度などの品質情報をシームレスにモニターするクラウドシステムを共同開発しました。



PoE対応 G-TAG※2 TempView  
(型番：GT101-T)



※1 GDP (Good Distribution Practice：医薬品の適正流通) ガイドライン

流通経路（仕入・保管・供給）の管理が保証され、医薬品の完全性が保持されるための手法、さらに、偽造医薬品の正規流通経路への流入を防止するための適切な手法を定めたもの。

※2 PoE給電で稼働し、停電時にもデータが取得できるようにバックアップ用バッテリーとバックアップメモリを搭載しているため、温度測定と測定データの記録を維持できます。なお、PoE (Power Over Ethernet) とは、イーサネットケーブル (LANケーブル) で通信データに加えて、電力を供給する技術。

## VOICE

### 医薬品の品質管理に貢献していきます



株式会社メディセオ  
ロジスティクス本部  
GDP統括部長

友藤 喜章

医薬品の品質管理は、全流通経路におけるトレーサビリティが重要です。業務提携している神栄(株)が構築したスマートセンシングプラットフォーム「S3 PLATFORM」や他社の管理システムと連携することにより、将来的に製薬企業での保管から卸を経由し医療機関、さらには患者さんのご自宅までの全行程において、一気通貫の温度トレーサビリティと医薬品流過程の可視化が実現できると考えています。また、新たに開発した温度ロガーはバックアップ機能があるため、温度測定と測定データの記録を維持できます。

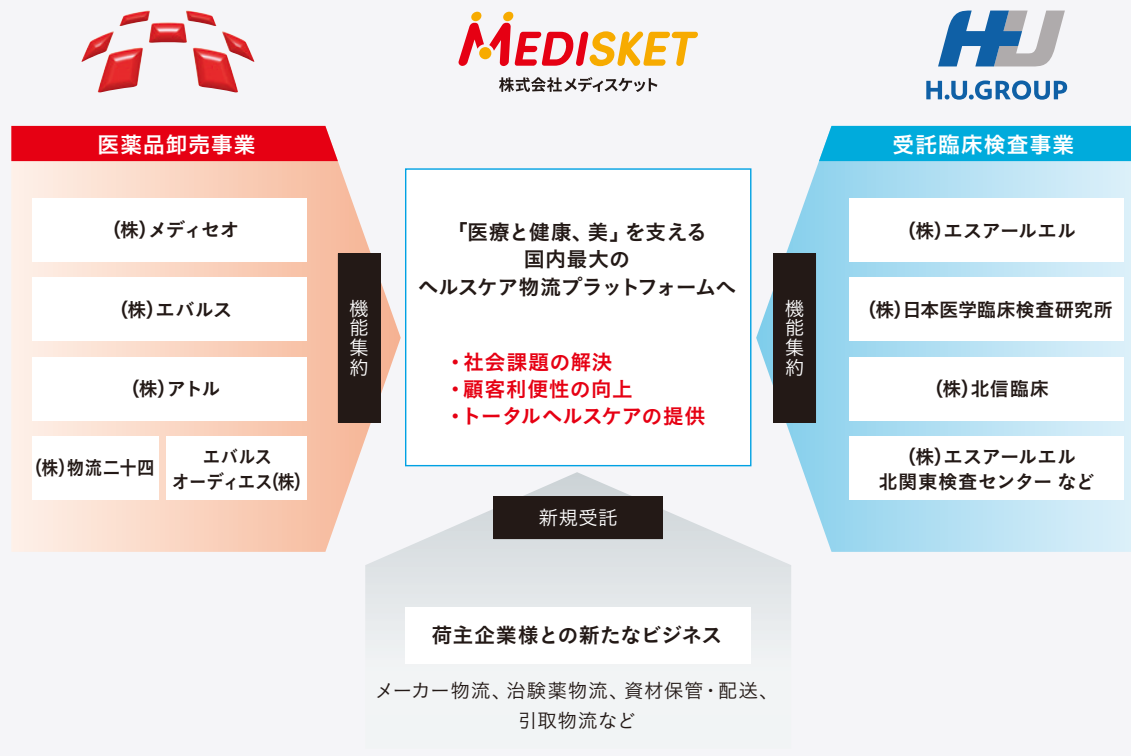
全流通経路において、トレーサビリティが途切れることがないように、これからも医薬品の品質管理に貢献していきます。

## (株)メディスケット

# 「医療と健康、美」を支える国内最大のヘルスケア物流プラットフォームの構築

2022年4月に、当社とH.U.グループホールディングス(株)の両社の合弁会社である、(株)メディスケットを設立しました。(株)メディスケットは、医療用医薬品等卸売事業と受託臨床検査事業の物流を融合することによって、医薬品・検査資材などの供給と臨床・治験・研究などの検体の集荷を最適化することに加え、GDPガイドラインに準拠した高品質な物流サービスを提供していきます。

また、第三者が所有権を持つ物品を取り扱うことにより、さまざまなヘルスケアに関わる企業の参画を促進します。さらには、社会からの要請である温室効果ガス排出量削減など地球環境への課題解決をより早く実現し、社会に貢献します。(株)メディスケットは、単に物流の融合による効率化を求めるだけでなく、外部企業からの物流受託を行うことで新しい収益機会を創造します。「2027メディパル中期ビジョン Change the 卸 Forever ～たゆまぬ変革を～」の成長戦略の一つである「持続可能な流通の構築」の達成につながる取組みとして、(株)メディスケットの事業を推進していきます。



2022年12月稼働開始、医薬品卸売事業および受託臨床検査事業の約40拠点を移管完了  
一般貨物自動車運送業の免許を取得し、シェアリングロジスティクス※の事業化可能性調査に着手

**2025年3月期までにシェアリングロジスティクス基盤の整備完了をめざします。**